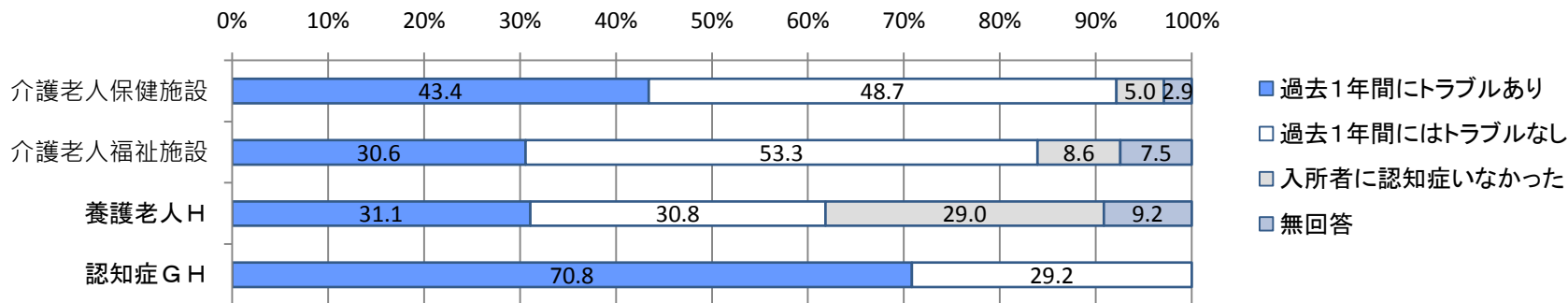
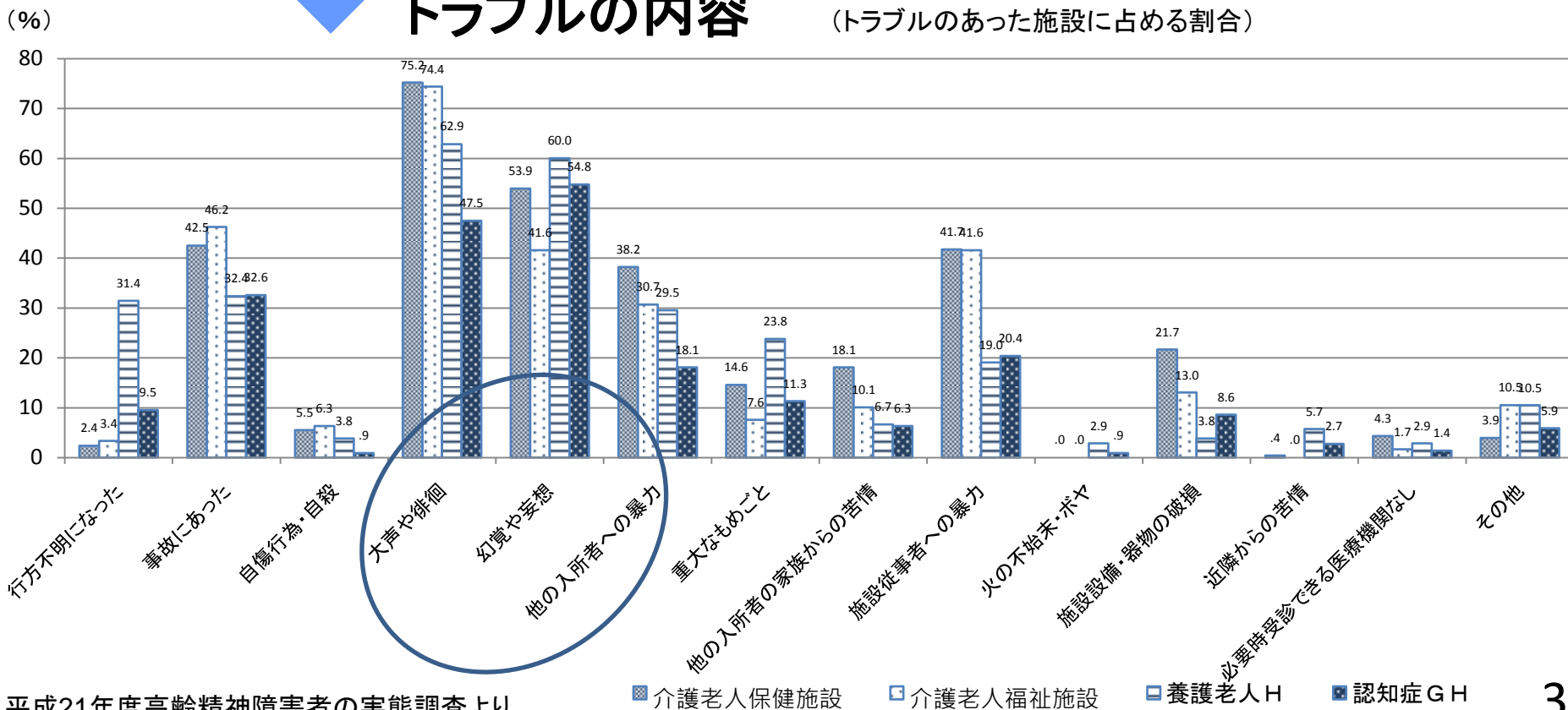


# 精神科病院からの認知症の退院患者の過去1年間のトラブル

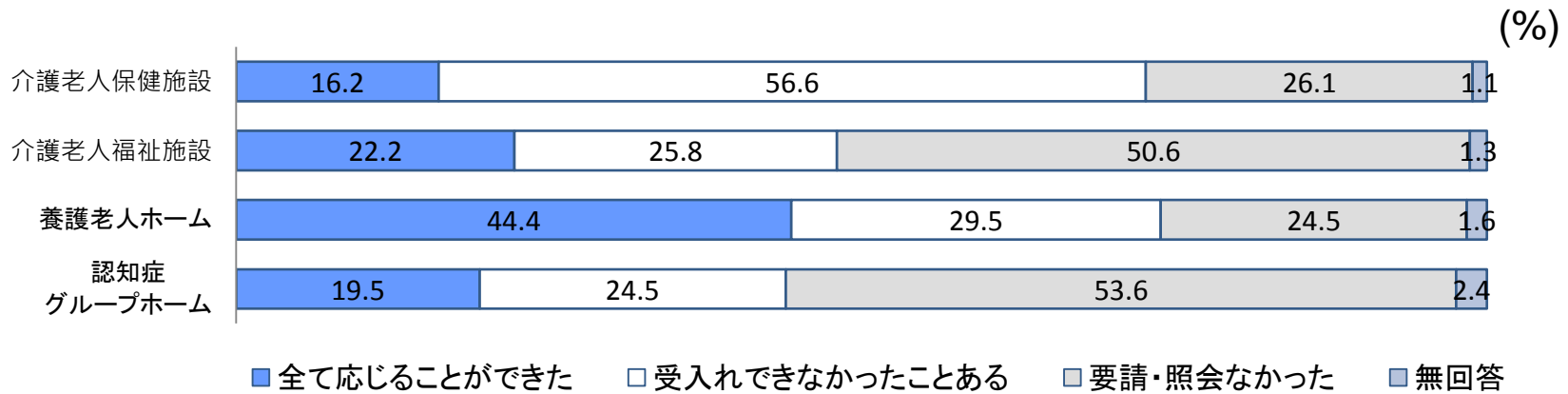


## トラブルの内容

(トラブルのあった施設に占める割合)

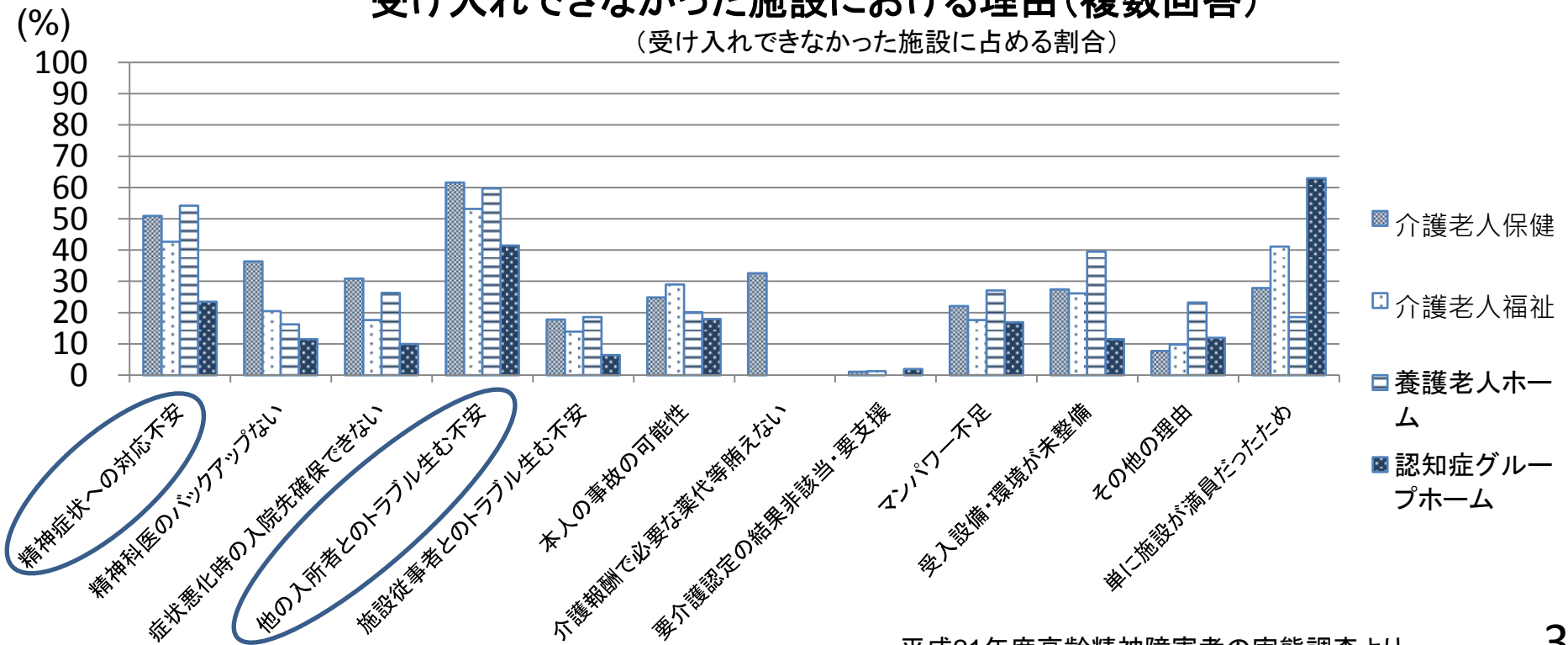


# 精神科病院等からの退院患者の受け入れ(過去3年間)



## 受け入れできなかった施設における理由(複数回答)

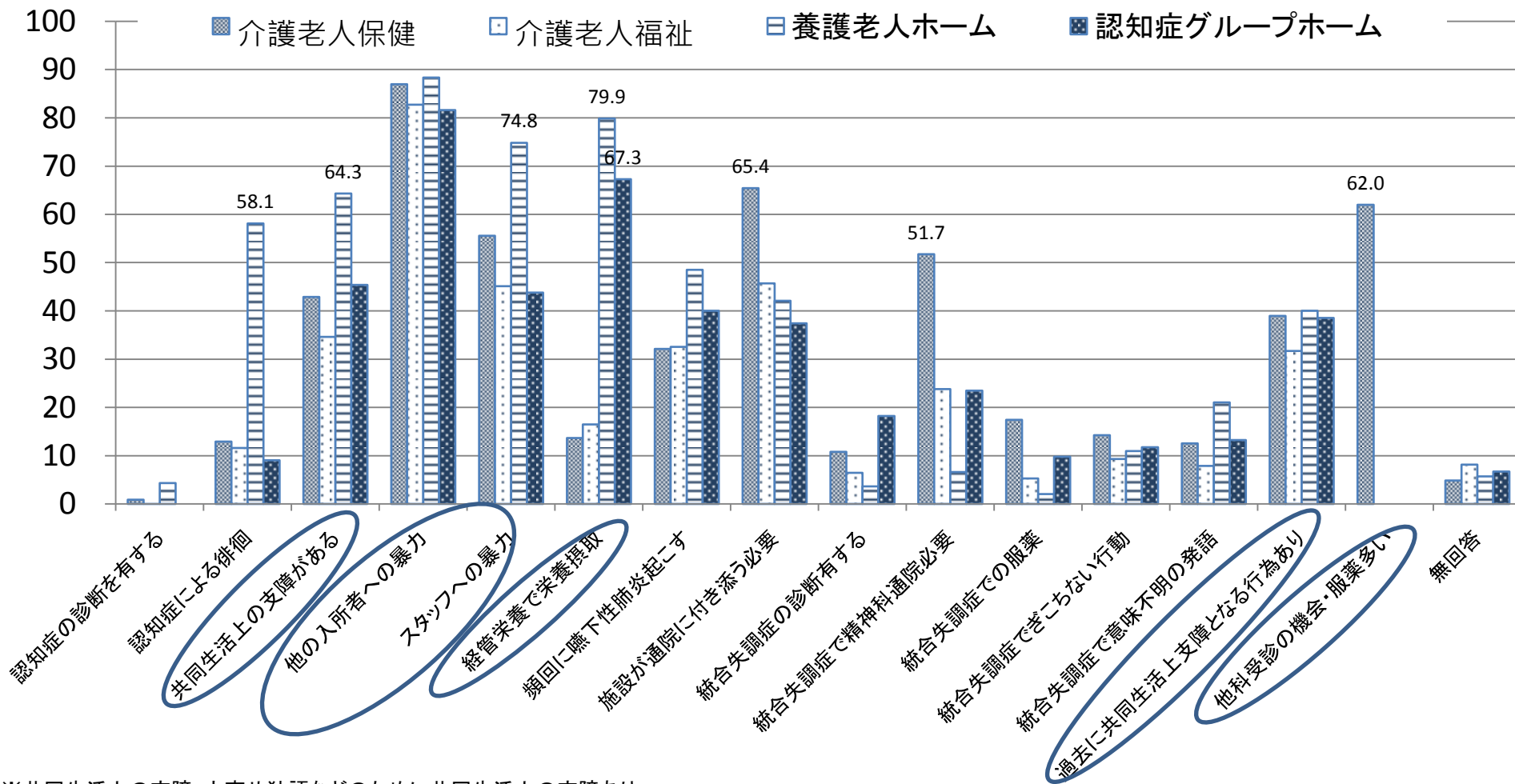
(受け入れできなかった施設に占める割合)



# 施設への受け入れが難しい対象者像(複数回答)

(全施設に占める割合)

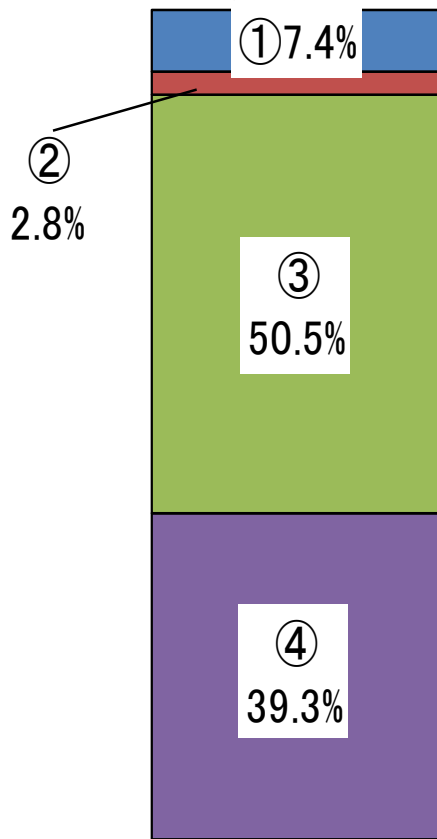
(%)



※共同生活上の支障: 大声や独語などのために共同生活上の支障あり  
 ※頻回に嚥下性肺炎: 約2か月に1回以上嚥下性肺炎を起こしている  
 ※施設が通院に付き添う必要: 毎週通院に付き添う必要がある

# 認知症による精神病床入院患者の退院可能性と理由

## 居住先・支援が整った場合の退院可能性



(有効回答数 3,458人)

## 退院の可能性がない患者における主な理由

|                   |       |
|-------------------|-------|
| セルフケア能力の問題        | 50.7% |
| 迷惑行為を起こす可能性       | 10.0% |
| 重度の陽性症状(幻覚・妄想)    | 5.6%  |
| 他害行為の危険性          | 4.3%  |
| 治療・服薬への心理的抵抗      | 1.5%  |
| 自傷行為・自殺企図の危険性     | 1.0%  |
| 重度の多飲水・水中毒        | 0.7%  |
| アルコール・薬物・有機溶剤等の乱用 | 0.4%  |
| その他               | 25.8% |

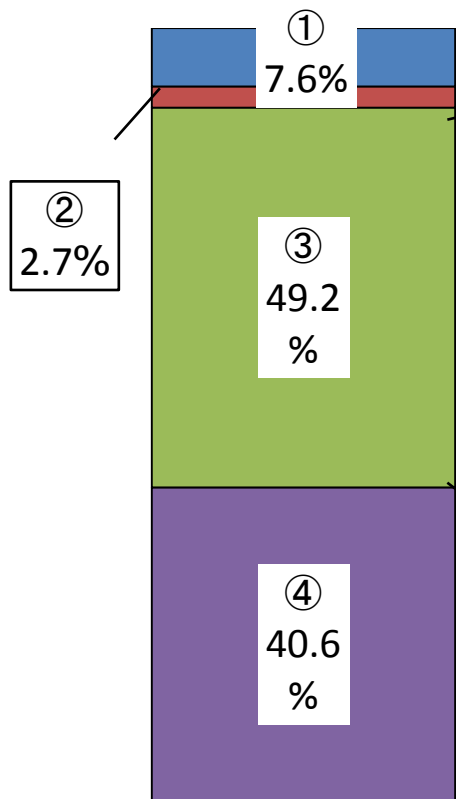
(有効回答数 1,057人)

- ①: 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- ②: 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- ③: 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- ④: 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない

# 認知症による精神病床入院患者の適切な居住の場

居住先・支援が整った  
場合の退院可能性

退院できると仮定した場合、  
適切と考えられる「居住の場」  
(いずれか一つ選択)



有効回答数3,265人

|                         |     |       |
|-------------------------|-----|-------|
| 1. 家族と同居                | 250 | 15.6% |
| 2. 入院前の自宅等でのひとり暮らし      | 31  | 1.9%  |
| 3. 賃貸アパート等を新たに借りてひとり暮らし | 8   | 0.5%  |
| 4. ケアホーム                | 27  | 1.7%  |
| 5. グループホーム              | 137 | 8.5%  |
| 6. 地域移行型ホーム             | 2   | 0.1%  |
| 7. 退院支援施設               | 16  | 1.0%  |
| 8. 従来型の社会復帰施設           | 17  | 1.1%  |
| 9. 介護老人保健施設             | 514 | 32.0% |
| 10. 介護老人福祉施設            | 415 | 25.9% |
| 11. 社会福祉施設              | 127 | 7.9%  |
| 12. その他                 | 32  | 2.0%  |
| 13. 将来の退院を想定できない        | 29  | 1.8%  |

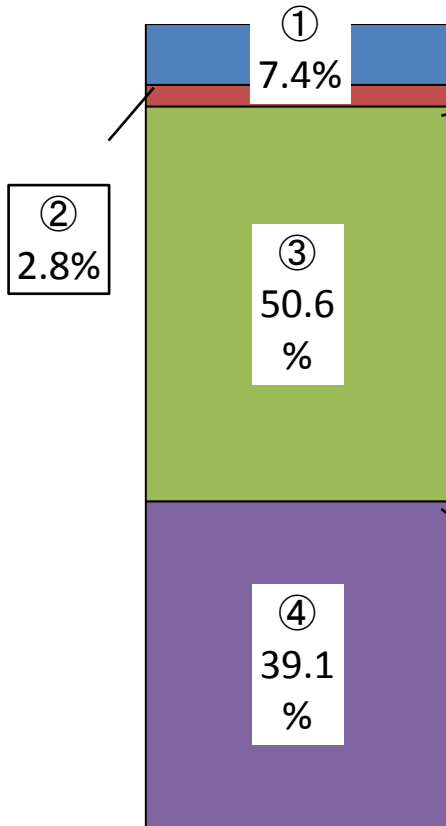
(有効回答数 1,605人)

- ①: 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- ②: 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- ③: 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- ④: 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない

# 認知症による精神病床入院患者の退院後の日中の活動

居住先・支援が整った  
場合の退院可能性

退院後、対象者が利用するのに  
必要なもの(複数回答可)



有効回答数3,391人

| 必要なもの                            | 人数  | 割合    |
|----------------------------------|-----|-------|
| デイケア、ナイトケア、デイナイトケア               | 527 | 30.6% |
| 生活訓練                             | 389 | 22.6% |
| 生活介護                             | 869 | 50.5% |
| 就労移行支援                           | 18  | 1.0%  |
| 就労継続支援A                          | 4   | 0.2%  |
| 就労継続支援B                          | 5   | 0.3%  |
| 地域活動支援センター                       | 64  | 3.7%  |
| 当事者の会、家族会、断酒会、ピアサポート、ピアカウンセリングなど | 37  | 2.1%  |
| その他                              | 58  | 3.4%  |
| 特に適当なものはない                       | 447 | 26.0% |
| 将来の退院を想定できない                     | 52  | 3.0%  |

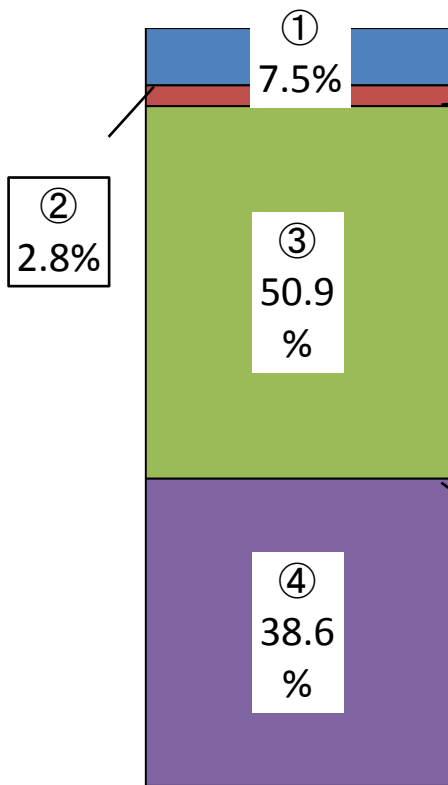
(有効回答数 1,721人)

- ①: 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- ②: 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- ③: 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- ④: 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない

# 退院できると仮定した場合の家族等からの支援

居住先・支援が整った  
場合の退院可能性

仮に退院できると仮定した場合に、  
家族や友人などから得られる支援の程度  
(いずれか一つ選択)



有効回答数3,388人

|                                   |     |       |
|-----------------------------------|-----|-------|
| 支援は得られない                          | 526 | 30.5% |
| 助言・精神的な支援(電話など、物理的にその場にはいない支援も含む) | 712 | 41.3% |
| 週数回のADL、IADLの支援                   | 224 | 13.0% |
| ほぼ毎日のADL、IADLの支援                  | 172 | 10.0% |
| 必要であれば24時間を通じてのADL、IADLの支援や見守り    | 91  | 5.3%  |

(有効回答数 1,725人)

- ①: 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- ②: 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- ③: 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- ④: 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない

# 退院できると仮定した場合の適当な「居住の場」

|                             |         |
|-----------------------------|---------|
| A. 全報告者数                    | 17,825人 |
| B. Aの内、認知症患者数(F00-03)       | 2,936人  |
| C. Bの内、「1年以上入院」の患者数         | 1,665人  |
| D. Cの内、身体合併症で「特別な管理」が不要な患者数 | 377人    |

